

沼津工業高等専門学校		開講年度	令和03年度 (2021年度)		授業科目	国語Ⅲ
科目基礎情報						
科目番号	2021-640			科目区分	一般 / 必修	
授業形態	授業			単位の種別と単位数	履修単位: 2	
開設学科	物質工学科			対象学年	3	
開設期	通年			週時間数	2	
教科書/教材	新編現代文 B（東京書籍）、新編現代文 B 学習課題ノート（東京書籍）国語便覧					
担当教員	小林 美恵子					
到達目標						
1. 文学作品を読みあじわうことによって、感受性を豊かにし、自身の興味・関心に沿って主体的に読書をする事ができる。 2. 評論文や随筆等の様々な文章に接する中で、論理的な思考方法・表現法を把握し、語彙を豊富にし、自らの文章表現に生かす事ができる。 3. 自らの考えをまとめて、積極的に発表しようとする姿勢を身につけ、実験結果等を発表する際のコミュニケーションに生かす事ができる。 4. 漢字・ことわざ・慣用句等の小テストを通して高めた国語の基礎能力を、自らの表現活動に生かす事ができる。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	文学作品を高い水準で読みあじわうことによって、感受性を豊かにし、読書に親しみきっかけとすることができる。		文学作品を読みあじわうことによって、感受性を豊かにし、読書に親しみきっかけとすることができる。		文学作品を読みあじわうことによって、感受性を豊かにし、読書に親しみきっかけとすることができない。	
評価項目2	評論文や随筆等の様々な文章に接する中で、漢字や語彙を豊富にし、高い水準で文章表現力を身につけることができる。		評論文や随筆等の様々な文章に接する中で、漢字や語彙を豊富にし、文章表現力を身につけることができる。		評論文や随筆等の様々な文章に接する中で、漢字や語彙を豊富にし、文章表現力を身につけることができない。	
評価項目3	自らの考えをまとめて、積極的に発表しようとする姿勢を涵養し、実験結果等を発表する際のコミュニケーション能力を主体的・能動的に高めることができる。		自らの考えをまとめて、積極的に発表しようとする姿勢を涵養し、実験結果等を発表する際のコミュニケーション能力を高めることができる。		自らの考えをまとめて、積極的に発表しようとする姿勢を涵養し、実験結果等を発表する際のコミュニケーション能力を高めることができない。	
評価項目4	漢字・ことわざ・慣用句等の小テストを通して高めた国語の基礎能力を、高い水準で自らの表現活動に生かすことができる。		漢字・ことわざ・慣用句等の小テストを通して高めた国語の基礎能力を、自らの表現活動に生かすことができる。		漢字・ことわざ・慣用句等の小テストを通し、国語の基礎能力を高めることができない。	
学科の到達目標項目との関係						
【本校学習・教育目標（本科のみ）】 4						
教育方法等						
概要	読む・聞く・書く・話す・考えるという日本語の能力を有機的に連携させつつ育成することにより、国際社会で活躍する技術者として求められる思考力、コミュニケーション能力、表現意欲、および感受性を身に付ける。評論文、随想、小説、詩歌などの読解を通して、精神の成長や情操の育成、想像力および感受性の練磨をはかり、技術者の社会的役割と責任を自覚する態度を培う。					
授業の進め方・方法	評論文を取り扱う授業では、論理的な文章の展開を読み取り、自らが、実験結果等をまとめて提出する際や、プレゼンテーション等を行う際に、相手に分かりやすく説明できる文章表現力や発表能力を身につける。文学的文章を取り扱う授業では、主人公や登場人物の心情を理解し、人生の真実や人間の生き方について考える機会とする。また、各回小レポートを課す等して国語基礎力の定着を図る。					
注意点	1 教科書・学習課題ノート・便覧は必要な教材として毎回必ず用意すること。配布資料がある場合はこれについても同様。 2 使用教材は、2年時に国語Ⅱで使用したものと共通です。開講前に 紛失しないよう注意してください。 3 評価については、評価割合に従って行います。ただし、適宜再試や 追加課題を課し、加点することがあります。定期試験は行わず、各回の小レポートや課題、小テストの結果を総合して決定します。 4 令和3年度前期の成績については、中間試験：期末試験の割合を6：4で算出します。後期については今のところは計画の変更をしません(10月1日加筆)。					
授業の属性・履修上の区分						
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☒ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業
授業計画						
		週	授業内容		週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	オリエンテーション／俳句「春雷」		詩歌に描かれたものの見方・心情表現を読み取り、自分の意見を述べることができる。	
		2週	俳句「春雷」		詩歌に描かれたものの見方・心情表現を読み取り、自分の意見を述べることができる。	
		3週	俳句「春雷」		詩歌に描かれたものの見方・心情表現を読み取り、自分の意見を述べることができる。	
		4週	小説「葉桜と魔笛」		小説に描かれた人物やものの見方を表現に即して読み取り、自分の意見を述べることができる。	
		5週	小説「葉桜と魔笛」		小説に描かれた人物やものの見方を表現に即して読み取り、自分の意見を述べることができる。	
		6週	小説「葉桜と魔笛」		小説に描かれた人物やものの見方を表現に即して読み取り、自分の意見を述べることができる。	
		7週	小説「葉桜と魔笛」		小説に描かれた人物やものの見方を表現に即して読み取り、自分の意見を述べることができる。	
		8週	随想「物語の外から」		随想に描かれたものの見方を表現に即して読み取り、自分の意見を述べることができる。	
	2ndQ	9週	随想「物語の外から」		随想に描かれたものの見方を表現に即して読み取り、自分の意見を述べることができる。	
		10週	随想「物語の外から」		随想に描かれたものの見方を表現に即して読み取り、自分の意見を述べることができる。	

後期		11週	詩歌「永訣の朝」	詩歌に描かれたものの見方・心情表現を読み取り、自分の意見を述べることができる。
		12週	詩歌「永訣の朝」	詩歌に描かれたものの見方・心情表現を読み取り、自分の意見を述べることができる。
		13週	評論「言葉は世界を切り分ける」	論理的な文章の構成や展開を的確にとらえ、要約できる。本文中から収集した情報を分析し、目的に応じて整理できる。
		14週	評論「言葉は世界を切り分ける」	論理的な文章の構成や展開を的確にとらえ、要約できる。本文中から収集した情報を分析し、目的に応じて整理できる。
		15週	評論「言葉は世界を切り分ける」	論理的な文章の構成や展開を的確にとらえ、要約できる。本文中から収集した情報を分析し、目的に応じて整理できる。
		16週		
	3rdQ	1週	評論「未来のありか」	論理的な文章の構成や展開を的確にとらえ、要約できる。本文中から収集した情報を分析し、目的に応じて整理できる。
		2週	評論「未来のありか」	論理的な文章に表された考えに対して、その論拠の妥当性の判断を踏まえて自分の意見を述べることができる。
		3週	評論「未来のありか」	論理的な文章に表された考えに対して、その論拠の妥当性の判断を踏まえ、新たな発想や他者の視点の理解に努め、自分の思いや考えを整理するための手法を実践できる。
		4週	小説「蠅」	小説に描かれた人物やものの見方を表現に即して読み取り、自分の意見を述べることができる。
		5週	小説「蠅」	小説に描かれた人物やものの見方を表現に即して読み取り、自分の意見を述べることができる。
		6週	小説「蠅」	小説に描かれた人物やものの見方を表現に即して読み取り、自分の意見を述べることができる。
		7週	小説「蠅」	小説に描かれた人物やものの見方を表現に即して読み取り、自分の意見を述べることができる。他者の意見について、立場や考えを尊重しつつ、議論を通して集団としての思いや考えをまとめることができる。
		8週	評論「豊かさと生物多様性」	論理的な文章の構成や展開を的確にとらえ、要約できる。本文中から収集した情報を分析し、目的に応じて整理できる。
	4thQ	9週	評論「豊かさと生物多様性」	論理的な文章に表された考えに対して、その論拠の妥当性の判断を踏まえて自分の意見を述べることができる。
		10週	評論「ホンモノのおカネの作り方」	論理的な文章の構成や展開を的確にとらえ、要約できる。本文中から収集した情報を分析し、目的に応じて整理できる。
		11週	評論「ホンモノのおカネの作り方」	論理的な文章に表された考えに対して、その論拠の妥当性の判断を踏まえて自分の意見を述べることができる。
		12週	評論「ホンモノのおカネの作り方」	論理的な文章の構成・展開を参考に、整理した情報を基にして、主張が効果的に伝わるように工夫し、実用的な文章・報告・論文等を作成することができる。
		13週	小説「ベル・エポック」	小説に描かれた人物やものの見方を表現に即して読み取り、自分の意見を述べることができる。
		14週	小説「ベル・エポック」	小説に描かれた人物やものの見方を表現に即して読み取り、自分の意見を述べることができる。
		15週	小説「ベル・エポック」	小説に描かれた人物やものの見方を表現に即して読み取り、自分の意見を述べることができる。他者の意見について、立場や考えを尊重しつつ、議論を通して集団としての思いや考えをまとめることができる。
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	国語	国語	論理的な文章(論説や評論)の構成や展開を的確にとらえ、要約できる。	2	前1,後1,後8,後10
				論理的な文章(論説や評論)に表された考えに対して、その論拠の妥当性の判断を踏まえて自分の意見を述べることができる。	2	前2,前3,後2,後9,後11
				文学的な文章(小説や随筆)に描かれた人物やものの見方を表現に即して読み取り、自分の意見を述べることができる。	2	前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,後4,後5,後6,後13,後14,後15
				常用漢字の音訓を正しく使える。主な常用漢字が書ける。	2	前15
				類義語・対義語を思考や表現に活用できる。	1	前15
				社会生活で使われている故事成語・慣用語の意味や内容を説明できる。	1	前15
				実用的な文章(手紙・メール)を、相手や目的に応じた体裁や語句を用いて作成できる。	1	後12

				収集した情報を分析し、目的に応じて整理できる。	2	前1,後1,後8,後10
				報告・論文を、整理した情報を基にして、主張が効果的に伝わるように論理の構成や展開を工夫し、作成することができる。	2	後12
				課題に応じ、根拠に基づいて議論できる。	2	
				相手の立場や考えを尊重しつつ、議論を通して集団としての思いや考えをまとめることができる。	2	後7,後15
				新たな発想や他者の視点の理解に努め、自分の思いや考えを整理するための手法を実践できる。	2	後3
分野横断的能力	汎用的技能	汎用的技能	汎用的技能	日本語と特定の外国語の文章を読み、その内容を把握できる。	2	
				他者とコミュニケーションをとるために日本語や特定の外国語で正しい文章を記述できる。	2	
				他者が話す日本語や特定の外国語の内容を把握できる。	2	
				日本語や特定の外国語で、会話の目標を理解して会話を成立させることができる。	2	
				課題の解決は直感や常識にとらわれず、論理的な手順で考えなければならないことを知っている。	2	
				グループワーク、ワークショップ等による課題解決への論理的・合理的な思考方法としてブレインストーミングやKJ法、PCM法等の発想法、計画立案手法など任意の方法を用いることができる。	2	
				どのような過程で結論を導いたか思考の過程を他者に説明できる。	2	

評価割合							
	試験	授業参加度（含提出物）	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	80	20	0	0	0	0	100
基礎的能力	80	20	0	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0